

取扱説明書

冷凍冷蔵庫

KFN 4375 DD



お客様の安全を確保し機器の損傷を避けるため、設置前やご使用になる前に **必ず** 本取扱説明書をお読みください。

目次

安全上のご注意	4	操作	31
サステナビリティと環境保護	13	適切な温度	31
エネルギーを節約する方法	14	温度表示	31
設置	15	冷蔵庫/冷凍室の温度を設定する	31
設置場所	15	温度とドアのアラーム	32
換気要件	16	冷蔵庫に食品を保存する	35
複数の冷蔵機器を隣接して設置する場合、 ドアレンジを交換する (サイドバイサイド 設置時変更不可)	16	各種保存ゾーン	35
冷蔵機器の設置	17	食品はそのまま保存するべきでしょ うか、それとも包装して保存するべ きでしょうか?	35
冷蔵機器の位置を合わせる	17	DailyFresh引き出しに食品を保存する	35
連続するキッチンキャビネットに冷蔵機 器を設置する	18	生鮮食品を冷凍保存する	37
機器寸法	19	飲み物をすばやく冷やす	37
電源接続	21	氷を作る	37
機器ガイド	22	その他の設定を選択する	38
冷蔵機器	22	さまざまな設定の説明	38
ディスプレイ付き操作パネル	24	パーティーモード 	38
設定モード 	24	ホリデーモード 	38
設定モード  でご希望の機能を選択 する	26	ロック機能  /  をオンする	38
庫内の構成を調整する	27	サバトモード 	39
ドア棚/ボトル棚を移動する	27	ドアアラーム  が作動するまでの時 間を変更する	40
調節可能な棚を移動する	27	アラーム音とブザーの音量を調整す る  / 	40
ベーキングトレイの格納スペース	27	ディスプレイの明るさ  を調整する	40
Active AirClean filter (アクティブ エアクリンフィルター)を移動する	28	デモモードをオフする 	40
冷凍庫ゾーンのフレキシブルなデザ イン (VarioRoom)	28	設定を初期設定にリセットする 	41
付属アクセサリー	28	情報 	41
別売アクセサリー	28	活性炭フィルター交換表示 	41
電源をオン/オフする	29	清掃モード 	41
初めてお使いになる前に	29	清掃とお手入れ	42
冷蔵機器を接続する	29	霜取り	42
冷蔵機器をオンする	29	洗剤	42
冷蔵機器をオフする	29	清掃のために冷蔵機器を準備する	42
冷蔵庫だけをオフする	29	機器内部の清掃	43
長期間オフする	30	アクセサリーを手洗いまたは食器洗い機 で洗浄する	43
		アクセサリーを取り外し、分解、清掃す る	43
		ガラス棚と引き出しを冷凍室に入れ る	44
		機器前面とサイドパネルを清掃する	45
		ドアパッキンを清掃する	46

換気口の清掃.....	46
清掃をした後は.....	46
こんなとき、どうしたらいい？	47
庫内照明.....	53
運転時の音.....	53
アフターサービス.....	55
故障の際の連絡先.....	55
保証.....	55
著作権とライセンス.....	56

安全上のご注意

表 示	表 示 の 意 味
 警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。
- 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例



禁 止（してはいけないこと）

具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。



強 制（必ずすること）

具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。



注 意（警告を含む）

具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 禁止行為	 潜在的な危険・警告・注意
 分解禁止	 感電注意
 水場、湿気の多い場所での使用禁止	 機器に損害を与える可能性のある場合
 接触禁止	 発火注意
 強制／指示	 高温注意
 電源接続に関する注意	 破裂注意
 必ずアース線を接続	

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切なご使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

本冷蔵機器は、現行の安全要求事項に適合しています。ただし、正しくお使いにならないと、人的傷害または物的損害を招く危険性があります。

冷蔵機器を初めてご使用になる前に、本取扱説明書および設置手順書をよくお読みください。取扱説明書には、設置、安全、使用、お手入れに関する重要な情報が記載されています。これにより、人体への傷害および本冷蔵機器の損傷を防ぐことができます。

IEC 60335-1規格に基づき、Mieleは冷蔵機器の設置に関するすべての情報、ならびに警告および安全上の注意事項を必ずお読みいただき、遵守されるよう強く推奨します。

Mieleはこれらの指示に従わないことにより生じる怪我や物損の製造者責任は負いません。

この取扱説明書は安全な場所に保管し、本製品を譲渡する場合には必ず本書を添付してください。



冷蔵機器は、付属の昇圧トランスを使用し、付属の接続コードを使用して冷蔵機器に接続した場合のみ使用できます。昇圧トランスは、必ず適切な電源ケーブルを使用して、アース付きコンセントに接続します。



警告

正しい用途

本冷蔵機器は、ご家庭での使用、またはそれに類似する以下のような環境での使用を想定しています。

- 店舗、オフィス、およびそれらに類似する職場環境
 - ホテル、民宿、およびそれらに類似する居住環境でのゲストによる使用。
- 本冷蔵機器は屋外での使用を想定していません。



本機器は、ご家庭における食品や飲み物の冷却と保存、ならびに冷凍された食品の保存、生鮮食品の冷凍、製氷のみを目的としています。



その他の用途での使用は認められておらず、危険をとまなうおそれがあります。



本冷蔵機器は、医療機器指令の対象となる冷蔵医薬品、血漿、実験室用製剤、同様の物質や機器の保管および保冷には適しません。このような目的で冷蔵機器を誤って使用すると、貯蔵した物が劣化する可能性があります。冷蔵機器は、爆発の危険性がある場所での使用にも適しません。

ミーレは、機器の不適切または誤った使用によって生じた損害について責任を負いません。



身体的、知覚的、または精神的に介護を要する方、経験や知識が未熟な方が本機器を使用する場合は、安全にお使いになれるよう周囲の方が操作中に十分配慮し、操作に伴う危険について説明するようになしてください。

安全上のご注意



警告

お子様の安全

❌ 8歳未満のお子様は、常に監督される場合を除き、冷蔵機器に近づかせないでください。

❗ 8歳以上のお子様は、安全な操作方法について説明を受け、誤った操作による危険性を理解している場合に限り、監督者なしで本機器を使用することができません。

❌ お子様が監督されない状態で本機器の清掃やお手入れを一切行わないようにしてください。

❗ 本機器の近くではお子様から目を離さないようにし、お子様が本機器で遊ばないようにしてください。

窒息の危険があります。お子様が遊んでいるときに、梱包材（プラスチックのラッピングなど）がからまったり、頭にかぶったりすると、窒息するおそれがあります。梱包材をお子様に近づけないでください。



警告

技術的安全性

冷媒回路は漏れないことを検査済みです。本冷蔵機器は、現行の安全基準と適切なEU指令に適合しています。



警告：火災の危険性/可燃性物質。この記号はコンプレッサーに記載されており、可燃性物質を示しています。このステッカーは剥がさないでください。

本冷蔵機器の冷媒（詳細は型式表示シールに記載）は、環境にやさしいですが可燃性です。

ただし、この冷媒を使用することで、機器の騒音レベルがわずかに上昇することがあります。コンプレッサーの動作音に加えて、冷却回路を流れる冷媒の音が聞こえる場合があります。これは防止できませんが、冷蔵機器の性能に影響を与えないものではありません。

冷蔵機器の輸送や設置の際には、冷却回路の部品が破損しないようにご注意ください。冷媒の飛沫で目を負傷したり、冷媒が漏れて発火する可能性があります。破損した場合：

- 火や火花を発生させるものは避けてください。
- 冷蔵機器を電源から切り離してください。
- 冷蔵機器のある部屋を数分間換気してください。
- ミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。

 冷蔵機器内の冷媒の量が多いほど、広い部屋に設置する必要となります。冷媒が漏れた場合、狭い部屋では可燃性のガスと空気の混合物が蓄積する危険があります。冷媒8 gあたり少なくとも 1 m^3 の部屋のスペースが必要です。冷蔵機器内の冷媒量は機器内の型式表示シールに記載しています。

 昇圧トランスの型式表示シールに記載されている接続データ(ヒューズ定格、周波数、電圧)が、電源と一致していることを確認してください。このデータは、冷蔵機器の破損のリスクを回避するために、必ず一致させてください。本機器を電源に接続する前に、この点を確認してください。ご不明な点は、認定技術者にご相談ください。

 本機器の電気系統についての安全が保証されるためには、正しく接地(アース)されていなければなりません。この基本的な安全要件を満たすことは重要です。不明な場合は、資格を有する電気技師に電気配線の検査を依頼してください。

 冷蔵機器は、付属の昇圧トランスを使用し、付属の接続コードを使用して冷蔵機器に接続した場合のみ使用できます。昇圧トランスは、必ず適切な電源ケーブルを使用して、アース付きコンセントに接続します。

 昇圧トランスとともに購入した冷蔵機器のみ、組み合わせて使用することができます。昇圧トランスに他の機器を接続しないでください。

 電源コードは、この冷蔵機器にのみ使用することができます。電源コードは、他の機器とともに使用しないでください。

 コンセントは緊急時にすばやく主電源から遮断できるよう、冷蔵機器の後ろに隠れないようにし、簡単にアクセスする必要があります。

 主電源接続ケーブルが損傷した場合は、直ちに冷蔵機器を電源から切り離してください。ミーレカスタマーサービスに連絡してください。

 付属の電源コードが破損した場合は、ユーザーへの危険回避のため、必ず純正スペアパーツと交換してください。ミーレは、当社の純正スペアパーツを使用した場合のみ、機器の安全性を保証することができます。

 本機器をたこ足配線や延長コードを使って主電源に接続しないでください。発火のおそれがあり、本機器に必要な安全性が保証できなくなります。

 電気部品、電源コード、昇圧トランスの電源コードに水分が入ると、ショートすることがあります。したがって、湿気の多い場所(ガレージやユーティリティルームなど)で冷蔵機器を使用しないでください。

 本機器は、安定していない場所(船上など)で使用しないでください。

 損傷した機器は使用しないでください。
 危険です。本機器に損傷がないかをチェックしてください。

本冷蔵機器は、ビルトイン機器として使用することを目的としていません。

 本機器の設置、メンテナンス、修理の作業中は、必ず電源から遮断している必要があります。

 不適切な設置、メンテナンス、修理により、大きな危険が生じるおそれがあります。
 す。

設置、メンテナンス、および修理はミーレ認定の技術者のみが行うことができます。

 保証期間中の修理は、ミーレ認定のサービス技術者のみが行う必要があります。それ以外の人物が行った場合、保証が無効になります。

安全上のご注意

❗ 問題のある部品を交換する場合は、必ずミーレ純正交換部品のみを使用してください。ミーレは、ミーレの交換部品が使用されている場合にのみ、本機器の安全基準を保証できます。

❗ 本冷蔵機器には、特定の条件（温度、湿度、耐薬品性、耐摩耗性、震動など）に耐えうる特殊なランプが備えられています。このランプは決められた用途にのみ使用してください。このランプは室内照明には適していません。交換用ランプの取り付けは、必ずミーレ認定の技術者またはサービス担当者によってのみ取り付けることができます。

❗ ゴキブリなどの害虫が出現しやすい場所では、本機器とその周辺を常に清潔な状態に保つよう特に注意してください。ゴキブリなどの害虫を原因とする損傷は保証対象外です。



警告

正しい設置

❗ 冷蔵機器を設置するときは、付属の設置説明書に従ってください。

設置手順書に従って、（必要であれば）ドアヒンジを交換します。

冷蔵機器の運搬や設置、およびドアのヒンジを交換する際は、必ず保護手袋を着用してください。

本冷蔵機器は重く、機器のドアが開いているときに手前に転倒するおそれがあります。

- 冷蔵機器の運搬または移動には、少なくとも2人が必要です。
- 冷蔵機器のドアヒンジの交換には少なくとも2人が必要です。
- 冷蔵機器の設置には少なくとも2人が必要です。
- 設置中は、冷蔵機器を絶対に放置しないでください。



注意

正しい使用方法



本冷蔵機器は、一定の気候範囲（周囲温度）での使用を前提に設計されています。設計周囲温度の範囲外では使用しないでください。本機器の気候範囲は、機器内の型式表示シールに記載しています。周囲温度が低すぎると、コンプレッサーが長時間オフになります。つまり、冷蔵機器は必要な温度を維持できません。



換気する面が覆われたり妨げられたりしないようにしてください。これにより、本製品の適切な換気が妨げられ、消費電力が増加し、部品の損傷を引き起こす可能性があります。



油脂を多く含む食品による損傷のおそれがあります。冷蔵機器や機器のドアを油脂を含む食品の保存に使用する場合は、プラスチック部品と接触しないように注意してください。油や脂肪がこぼれると、プラスチックにストレスクラックが生じ、破損や裂断を引き起こす可能性があります。



可燃性の混合ガスによる発火や爆発のおそれがあります。冷蔵機器に、爆発物または高圧ガスを含む製品（スプレー缶など）を保存しないでください。電気部品が可燃性のガス混合物を発火させる場合があります。該当するスプレー缶は、缶に印刷された内容物表示や火のマークによって確認することができます。電気部品は、漏れたガスを発火させる場合があります。



爆発の危険があります。冷蔵機器内の中で電気機器（電気アイスクリームメーカーなど）を稼働させないでください。火花の発生や爆発の原因となります。



けがや機器の損傷の危険があります。冷凍室で凍結する可能性のある炭酸飲料や液体が入った缶やボトルを貯蔵しないでください。破裂する可能性があります。



けがや機器の損傷の危険があります。冷凍室で飲み物を急速に冷やすときは、ボトルを1時間以上入れたままにしないでください。破裂する可能性があります。



けがのおそれがあります。冷凍された食品や機器の金属部分を、絶対に濡れた手で触らないでください。冷凍された食品または金属に、手が凍り付いてしまう可能性があります。



けがのおそれがあります。素手で氷を取り出さないでください。また、氷やスティックアイスは冷凍室から取り出してすぐに口にしないでください。低温により、唇や舌が凍傷となる可能性があります。



溶けかけている食品や解凍した食品は再冷凍しないでください。栄養価が下がったり傷んだりするので、解凍した食品はできるだけ消費してください。解凍した食品は、調理した後に限り再冷凍することができます。



食中毒のリスクを避けるために、食品に記載されている製造元の「消費期限」と保存方法を遵守してください。保存期間は、食品の鮮度、品質、保存温度などの要因に左右されます。



冷凍庫に入れた生鮮食品ができるだけ早く中心部まで冷凍されるために、最大冷凍容量を超えないようにしてください。

安全上のご注意

ステンレス製の機器



粘着剤はステンレス製の表面を損傷し、汚れ防止の保護コーティングの効果が失われる原因となります。付箋、粘着テープ、マスキングテープ、その他の粘着剤はステンレス面に貼らないでください。本製品の表面は傷つきやすい材質でできています。磁石でさえも傷の原因となるおそれがあります。



注意

アクセサリーと交換部品



ミーレ純正アクセサリーのみを使用してください。それ以外のアクセサリーが使用された場合、保証、性能、製品製造者責任に関する請求は無効となります。

ミーレは、冷蔵機器の製造終了後も、最低10年および最長15年、スペアパーツの供給を継続します。



注意

お手入れ



ドアパッキンにオイルやグリスを使用しないでください。パッキンが劣化し、次第に気密性が低下します。



警告。霜取りを早めるために、メーカーが推奨していない機械工具やその他の補助器具を使用しないでください。



本機器の清掃や霜取りにスチームクリーナーを使用しないでください。蒸気が電気部品に到達してショートを引き起こすおそれがあります。



鋭利なものや先のとがったものは蒸発器を損傷し、本機器に重大な損傷を与えるおそれがあります。鋭利なものや先のとがったものを使って

- 霜や氷層を取ったり、
- 凍りついた食品や製氷皿をはがしたりしないでください。



霜取りのために庫内に電熱器やローソクを置かないでください。プラスチック部品を傷める可能性があります。



霜取りスプレーや除氷剤は使用しないでください。霜取りスプレーや除氷剤には、プラスチック部品を損傷したり、爆発性ガスの発生を引き起こして健康に危険を及ぼす可能性のある物質が含まれている場合があります。



注意

輸送



輸送中の損傷を避けるため、本機器は常に直立した状態で、出荷時の輸送用梱包に入れて輸送してください。



けがや機器の損傷の危険があります。冷蔵機器は非常に重いため、必ず 2 人で輸送してください。



注意

使用済み機器の廃棄処分

お子様が冷蔵機器で遊ぶと、機器内に閉じ込められて窒息する可能性があります。

- 機器のドアを外します。
- 引き出しを取り外します。
- 棚を冷蔵機器に残したままにしてお子様が中によじ登れないようにしてください。
- 使用済み冷蔵機器にドアロックがある場合は、破壊します。これにより、お子様が誤って機器内に閉じ込められ、命の危険にさらされるのを防止します。

感電のおそれがあります。

- 電源コードのプラグを切断してください。
- 使用済み機器の電源コードを切断してください。

プラグと電源コードは使用済み機器とは別に廃棄してください。

廃棄処分中および廃棄処分後は、冷蔵機器が石油その他可燃性ガスや液体の近辺に置かれていないことを確認してください。

流出したオイルや冷媒による発火の危険があります。

機器内部の冷媒とオイルは可燃性です。流出した冷媒やオイルが高濃度の場合、外部の熱源と接触すると発火のおそれがあります。

廃棄の際は、冷却回路が損傷していないことを確認してください。これにより、冷媒とオイルが制御不能な状態で漏れるのを防ぎます（冷媒の詳細については型式表示シール参照）。

安全上のご注意

 冷媒の飛沫によって目を損傷する可能性があります。廃棄を待つ間、以下のよう
なことで配管が損傷しないように注意し
てください。

- コンデンサー内の冷媒回路に穴が開く
- 配管が曲げられる
- 表面の被膜がかき落される

コンプレッサーの記号 (機種によって異 なります)

この情報はリサイクルにのみ関連していま
す。通常の操作におけるリスクはありません。



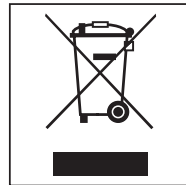
コンプレッサー内のオイルは、飲み込ん
だり、気道に侵入したりすると致命的と
なるおそれがあります。

梱包材の廃棄処分

梱包材は輸送の損傷から保護するものです。梱包材をリサイクルすることで、製造工程での原材料使用量を削減することができます。貴重な材料のために材料ごとの回収を利用し、返却されることをお勧めします。ご希望に応じて、Miele販売店が梱包材を持ち帰ります。

使用済み機器の廃棄処分

電子機器・電気製品には、貴重な素材が含まれている場合があります。また、機器が正しく安全に機能するために不可欠な特定の物質、化合物、部品も含まれています。これらは一般ごみとして廃棄したり不適切な取扱いをしたりすると、健康や環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。したがって、不要になった機器を一般ごみと一緒に廃棄しないでください。



各自治体・販売店・ミーレが指定する電子機器・電気製品の正しい廃棄およびリサイクル方法を利用してください。廃棄前に機器から個人情報情報を削除する責任はお客様にあります。

認可された収集場所への輸送前および輸送中に、冷蔵機器の配管を破損しないように注意してください。

これは、冷却回路内の冷媒とコンプレッサー内のオイルが環境に排出されないようにするためです。

不要になった機器を処分するまでの保管中、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。詳細については、機器の取扱説明書の「安全上のご注意」を参照してください。

サステナビリティと環境保護

エネルギーを節約する方法

設置場所

冷蔵機器は、高い周囲温度ではより頻繁に冷却する必要があり、その過程でより多くの電力を消費します。そのため以下に従ってください。

- 換気の良い部屋に冷蔵機器を設置します。
- 本冷蔵機器を熱源（ヒーターエレメントやオープンレンジ）の近くに設置しないでください。
- 直射日光が冷蔵機器に当たらないようにしてください。
- 理想的な周囲温度(20 ° C)を保ってください。
- 定期的に換気口を清掃し、ほこりを取り除いてください。

温度設定

温度が低いほど、消費電力量が多くなります。次の設定をお勧めします：

- 冷蔵室 4-5 ° C。
- 冷凍庫ゾーン：-18 ° C

使用時

電力消費は熱の投入と空気循環の妨げにより増加します。そのため以下に従ってください：

- 機器のドアは必要なときにだけ開け、できるだけ短時間にしてください。食品は、機器内で見つけやすいように配置します。
- 機器のドアを開けた後は、必ずきちんと閉めてください。
- 熱い食品や飲み物は、冷蔵機器に入れる前に冷ましてください。
- 食品はしっかりパックまたはカバーをして保存します。
- 空気が循環できるよう、庫内に食品を詰め過ぎないでください。
- 冷凍された食品を解凍する際に冷蔵ゾーンに入れます。
- 引き出しと棚は、出荷時と同じ配置のまま使用します。
- 機器の背面と壁の間に25 mmの間隔を保ってください。

設置場所

! 不適切な設置による火災や損傷のおそれ。

電源プラグ、電源コード、その他の接続ケーブル、昇圧トランスが機器の背面に触れると、振動によって損傷し、短絡を引き起こすおそれがあります。

電源プラグ、電源コード、その他の接続ケーブルが機器に触れないようにします。

電源コード、その他の接続ケーブル、昇圧トランスを引っ掛けたり、傷つけたりしないでください。

本製品の真後ろにあるソケットには、他の機器を接続しないでください。

機器の後ろ側に、マルチソケットアダプター、分配器、その他の電子機器（ハロゲンランプのトランスなど）を置いたり操作したりしないでください。

! 熱を発する機器による火災および損傷のおそれ。

熱を発する機器は発火し、冷蔵機器に引火する可能性があります。

電源接続ケーブルを熱源に接触させないでください。

ミニオープン、コンロ、トースターなど、熱を発する機器を冷蔵機器の上に置かないでください。

! 直火による火災や損傷のおそれがあります。

直火は冷蔵機器に引火する可能性があります。

直火（ろうそくなど）を冷蔵機器に近づけないでください。

本製品は、乾燥した風通しの良い部屋に設置してください。

設置場所の床は水平で、周囲の床と同じ高さにしてください。

! 高湿度による破損のおそれ。

湿度が高い環境では、外付けの冷蔵機器パネルに結露が発生することがあります。この結露は、外付け機器のパネルの錆の原因になることがあります。

冷蔵機器は十分に換気のできる乾燥した室内や空調の効いた室内に設置してください。

設置後、機器のドアが適切に閉まること、および設置施工手順書に従って冷蔵機器が設置されていることを確認してください。指定された換気面積の条件に従う必要があります。

設置場所を決める際には、ヒーターやオーブンレンジなど熱を発する機器の近くに設置すると、冷蔵機器の電力消費が多くなることにご留意ください。直射日光を避けてください。周囲温度が高いほど、コンプレッサーの稼働時間が長くなるため、電力消費が増加します。

気候範囲

冷蔵機器は、一定の周囲温度（気候範囲）での使用を前提に設計されています。周囲温度の設計範囲外では使用しないでください。冷蔵機器の気候範囲は、機器内の型式表示シールに記載しています。

気候範囲	周囲温度
SN	10-32℃まで
N	16-32℃まで
ST	16-38℃まで
T	16-43℃まで
SN-ST	10-38℃まで
SN-T	10-43℃まで

周囲温度が低いと、コンプレッサーのスイッチが長時間オフになります。これにより、冷蔵機器の内部温度が上昇して食品の品質が悪化したり、腐敗をまねくおそれがあります。

設置

換気要件

⚠ 換気の不備による発火のリスクと破損のリスク。

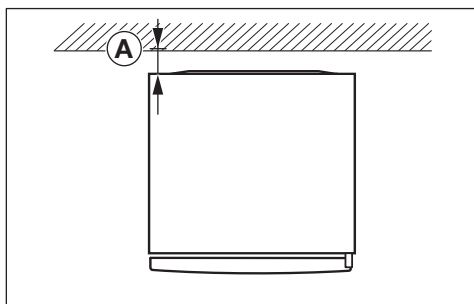
冷蔵機器の換気が不十分な場合、コンプレッサーがより頻繁に、より長い時間稼働します。その結果、電力消費量が増加し、コンプレッサーの作動温度が上昇して、冷蔵機器が損傷する可能性があります。

冷蔵機器の周囲は以下のように十分に換気されるようにしてください：

必要な換気の断面積を必ず確保してください。

換気断面が覆われたり妨げられたりしないようにしてください。

換気エリアは定期的に清掃し、ほこりや汚れを取り除いてください。



電力消費量は、機器の背面と壁との間隙を $\textcircled{A} = 25 \text{ mm}$ として計算されています。壁との間隙が 25 mm 未満の場合、冷蔵機器の機能は維持されても、電力消費量は若干増加します。周囲温度が高い場合にも結露が生じることがあります。

冷蔵機器の背面の空気は暖かくなります。そのため、適切な換気のための十分なスペースを確保する必要があります（「機器寸法」参照）。

複数の冷蔵機器を隣接して設置する場合

⚠ 外付けの機器パネルの結露による破損のリスク。

湿度が高い環境では、外付けの冷蔵機器パネルの間に結露が発生し、錆の原因になることがあります。

異なる冷蔵機器同士を**直接**隣り合わせに**しないで**ください。

2つの冷蔵機器の間は、 70 mm 以上の距離を保つ必要があります。

ドアヒンジを交換する（サイドバイサイド設置時変更不可）

⚠ ドアが重いため、けがや機器の損傷の危険があります。

ドアヒンジを一人で設置するとけがや破損のリスクが高まります。

ドアヒンジの交換は必ず2人で行ってください。

⚠ 電気部品が損傷するおそれがあります。

ドアヒンジには通電部品があります（モデルにより異なる）。

ヒンジを交換する前に、必ず壁のコンセントから機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。

📖 設置手順書に従いドアヒンジを交換してください（QRコード参照）。



M.-Nr. 12083840

冷蔵機器の設置

⚠ 冷蔵機器の転倒による破損やけがのリスクがあります。

冷蔵機器を一人で設置すると、けがや破損のリスクが高まります。

冷蔵機器は必ず2人で設置してください。

⚠ 衝撃によって機器のドアが破損するリスクがあります。

機器のドアが部屋の壁にぶつかり、ドアが破損する可能性があります。

部屋の壁にフェルトのストッパーを取り付けるなどして、機器のドアを保護してください。

⚠ 床が損傷するおそれがあります。

冷蔵機器を移動させる際に、床を損傷するおそれがあります。

傷が付きやすい床では慎重に冷蔵機器を移動させてください。

背面上部にある移動用ハンドルで設置し易くなり、移動用ホイールが冷蔵機器底部に備えられています（機種により異なります）。

冷蔵機器は必ず空の状態を設置してください。

- 「電気接続」の説明に従って、冷蔵機器を電源に接続します。
- 冷蔵機器を、所定の設置場所に慎重に移動します。
- 必要な距離を考慮し、冷蔵機器の背面を壁に向けて据え付けます。

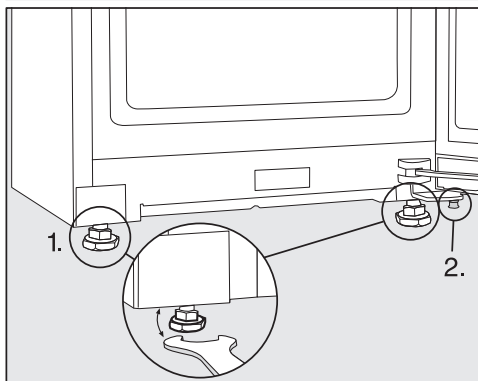
冷蔵機器の位置を合わせる

⚠ 機器のドアの落下や冷蔵機器の転倒による破損やけがのリスク。

下部のヒンジプレートにある追加の調整脚が床にしっかり固定されていないと、機器のドアが落ちたり、冷蔵機器が転倒する可能性があります。

付属のオープンスパナを使い、調整脚が床につくまでネジを緩めます。

次に、調整脚をさらに1/4回転させ、緩めます。



■ 水準器と付属のオープンスパナを使用して、冷蔵機器の位置を合わせ、機器のドアを支えてください。

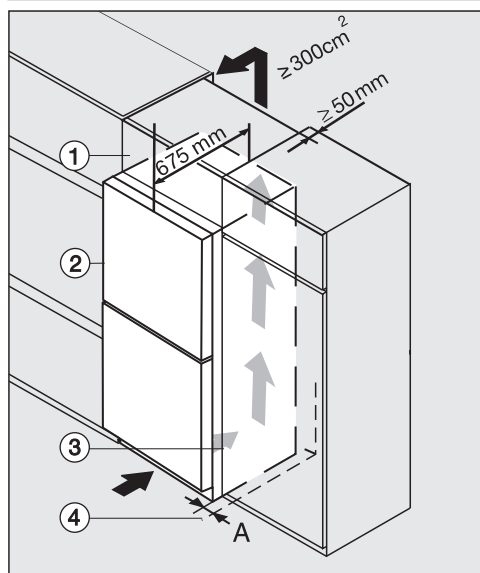
1. 前面の調節脚を調整します。
2. 追加の調整脚を、床に触れるまでネジを緩めて出します。次に、調整脚をさらに1/4回転させ、緩めます。

設置

連続するキッチンキャビネットに冷蔵機器を設置する

冷蔵機器をキッチンキャビネットで囲むことも可能です。

電力消費量は、機器の背面と壁との間隙を25 mmとして計算されています。壁との間隙が25 mm未満の場合、冷蔵機器の機能は維持されても、電力消費量は若干増加します。周囲温度が高い場合にも結露が生じることがあります。



K(S)/FN(S)/KFN 4xxx X **edst/cs、ws、bst、el**

① トップボックス

② 冷蔵機器、ドア奥行 = 75 mm

③ キッチンキャビネット

④ 壁

A = 25 mm (埋め込み型グリップ付き)/
60 mm (ハンドル付き)

⚠ 換気の不備による発火のリスクと破損のリスク。

冷蔵機器の換気が不十分な場合、コンプレッサーがより頻繁に、より長い時間稼働します。その結果、電力消費量が増加し、コンプレッサーの作動温度が上昇して、冷蔵機器が損傷する可能性があります。

冷蔵機器の周囲は以下のように十分に換気されるようにしてください：

必要な換気の断面積を必ず確保してください。

換気断面が覆われたり妨げられたりしないようにしてください。

換気エリアは定期的に清掃し、ほこりや汚れを取り除いてください。

換気の断面積が大きいほど、コンプレッサーの電力消費は少なくなります。

■ 冷蔵機器をキッチンキャビネットの横に設置します。

- 機器の前面は、少なくとも扉の奥行き分キッチンユニットの前面から突出していなければなりません。これにより、干渉することなく機器のドアが開閉できます。
- 壁 ④ に近接して設置する場合は、ヒンジ側で壁 ④ と冷蔵機器 ② との間に距離 (**A**) を確保する必要があります。
- 他のキッチンキャビネットと高さを合わせるために、冷蔵機器に適切なトップボックス ① を取り付けることができます。

トップボックスの全幅にわたって、深さ50 mmの空気排出口を設けてください。

暖かい空気が遮られることなく逃げられるよう、天井の下の換気断面積は300 cm²以上を確保してください。

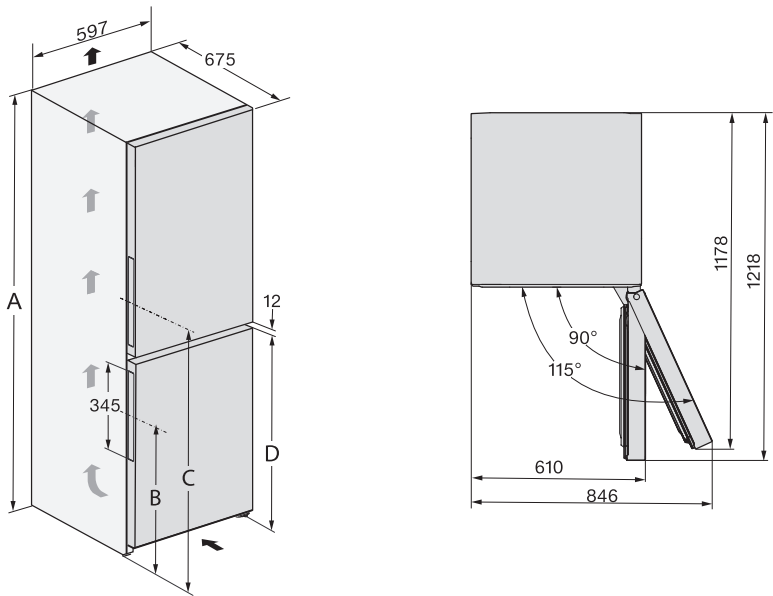
機器寸法

設置寸法/上から見た図

KFN 4375 ...

すべての寸法はmm表示です。

冷蔵機器は、指定された換気断面積が確保されていれば、正しく機能します。



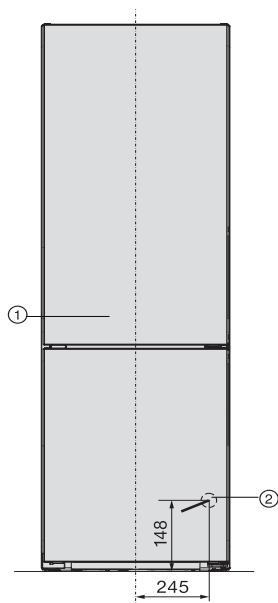
	A	B	C	D
KFN 4375 ...	1,855	594	1,061	821

設置

接続

KFN 4375 ...

すべての寸法はmm表示です。



① 正面図

② 電源コード

電源接続

冷蔵機器は、付属の昇圧トランスを使用し、付属の電源コードを使用して機器に接続した場合のみ使用できます。昇圧トランスは、必ず適切な電源ケーブルを使用して、アース付きコンセントに接続します。

コンセントと昇圧トランスは、冷蔵機器を設置した後、簡単にアクセスできるようにしてください。コンセントと昇圧トランスに簡単にアクセスできない場合、各電極の設置側に適切な切断手段を用意してください。

 オーバーヒートによる火災のおそれがあります。

たこ足配線や延長コードに冷蔵機器を接続すると、コードに負荷がかかり過ぎる場合があります。

安全上の理由から、延長コードやたこ足配線を使用しないでください。

電源コードが破損した場合は、必ず同種の専用電源コードと交換してください(ミーレ・カスタマーサービスからご購入いただけます)。安全上の理由から、このような交換は資格を有する専門家またはミーレ・カスタマーサービスのみが行えます。

昇圧トランスの型式表示シールには、公称消費電力と適切なヒューズ定格が記載されています。この情報を設置場所の電気接続のデータと比較してください。ご不明な点は、認定技術者にご相談ください。

冷蔵機器の接続

■ プラグコネクタを冷蔵機器背面のコンセントに挿し込みます。

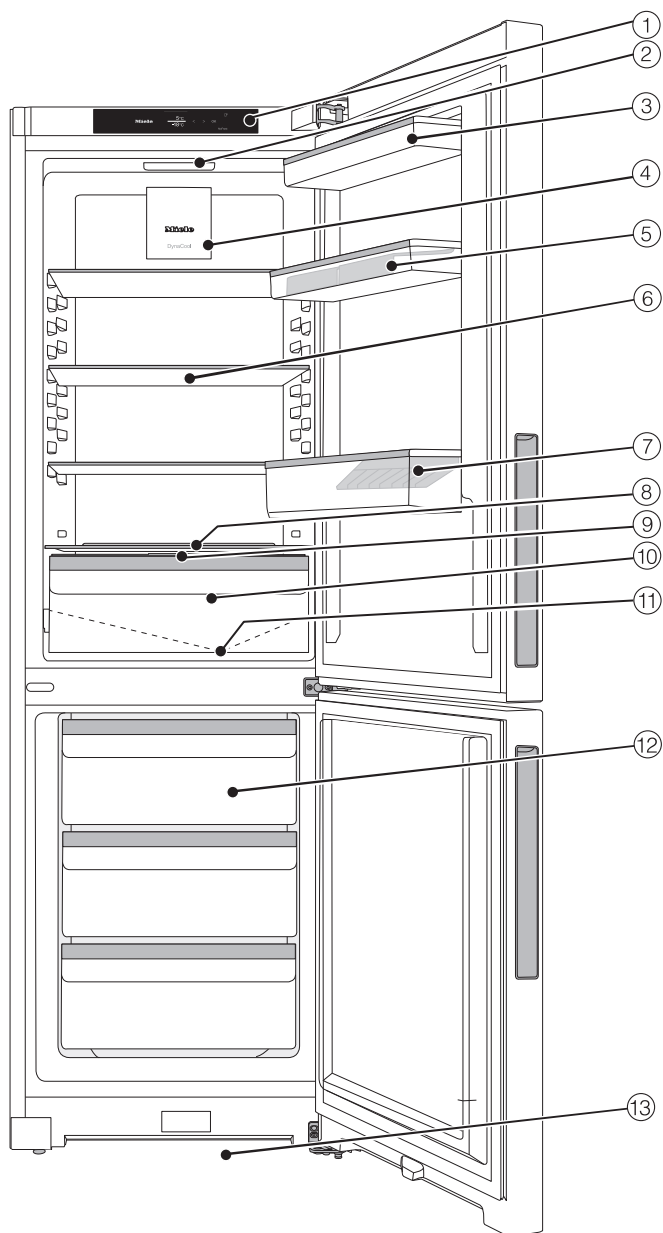
プラグコネクタが正しくカチッとハマっていることを確認します。

■ 冷蔵機器の電源プラグを昇圧トランス挿し込みます。昇圧トランスは、必ず適切な電源ケーブルを使用して、アース付きコンセントに接続します。

これで冷蔵機器が電源に接続されました。

機器ガイド

冷蔵機器

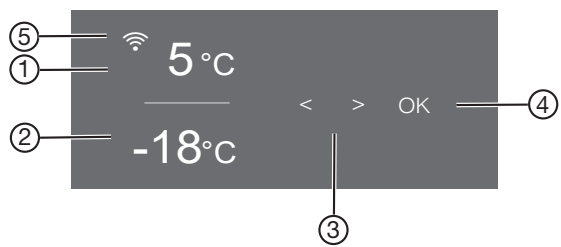


この図面はイメージです。

- ① ディスプレイ
- ② 庫内照明
- ③ ドア棚
- ④ ファン
- ⑤ エッグトレイ付きのドア棚
- ⑥ 調節可能な棚
- ⑦ ボトルホルダー付きボトル棚：
ボトルホルダーを左右に動かして、ドリンクカートン用のスペースを作ることができます。
- ⑧ 베이킹トレイ用スペース(XL庫内モデルの場合)
- ⑨ DailyFresh引き出しの湿度レベルを設定するためのコンテナカバー
- ⑩ 果物と野菜用DailyFresh引き出し (湿度制御機能付き)
- ⑪ 凝縮水路と凝縮水排水口：
凝縮した水は自然に流れ出て蒸発します。
- ⑫ 冷凍用引き出し
- ⑬ 換気口

機器ガイド

ディスプレイ付き操作パネル



- ① 冷蔵ゾーンの温度表示
- ② 冷凍室の温度表示
- ③ センサーコントロール、設定選択用
- ④ 選択を確定し、設定モードに入るため ⚙ の OK センサーコントロール
- ⑤ 接続状態の表示
(ネットワークが設定されている場合のみ表示)

設定モード ⚙

設定モードでは、以下の機器機能を選択し、一定範囲内で設定変更ができます：

記号	機能	工場出荷時 設定
🍷	パーティーモード機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」参照)	オフ
🌞	ホリデーモード機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」参照)	オフ
🔒/🔓	ロック機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」を参照)	🔒 (オフ)
🔌	冷蔵機器をオフする (「電源をオン/オフする」参照)	
📺	サバトモード機能をオン/オフする (「その他の設定を選択する」参照)	オフ

	サバトモードバージョンを呼び出す	—
	ドアアラームが作動するまでの時間を変更する（「その他の設定を選択する」参照）	1:00
 / 	キーパッド音をオン/オフする	オン
 / 	アラームとブザーの音量を変更するか、すべてオフする（「その他の設定を選択する」参照）	オン /レベル 5
	ディスプレイの明るさを変更する（「その他の設定を選択する」参照）	レベル 4
°C/°F	温度単位を変更する（摂氏または華氏）	°C
	デモモード機能をオン/オフする（オンにした時のみ表示）（「その他の設定を選択する」参照）	オフ
	初期設定にリセットする（「その他の設定を選択する」参照）	—
	冷蔵機器に関する情報（型式とシリアルナンバー）を呼び出す（「その他の設定を選択する」参照）	—
	活性炭フィルター交換のリマインダーをオンにする（「別売アクセサリー」参照）（「その他の設定を選択する」参照）	オフ
	清掃モードをオン/オフする（「清掃とお手入れ」参照）	オフ

機器ガイド

設定モード でご希望の機能を選択する

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。
-  がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。
- < > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。
- OK をタッチします。
- < > センサーコントロールを使って、ご希望の機能を選択します。
- OK をタッチして、ご希望の機能を選択します。

機能を **オン**すると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。

- OK をタッチして、機能の選択を解除します。

機能を **オフ**すると、ディスプレイの上隅の点が消えます。

設定モード を抜ける

- < > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。
- OK をタッチします。
- < > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールし、OK をタッチします。

■ あるいは：

最後にボタンを押してから約15 秒待ちます。
すると、設定モードから自動的に抜けます。

庫内の構成を調整する

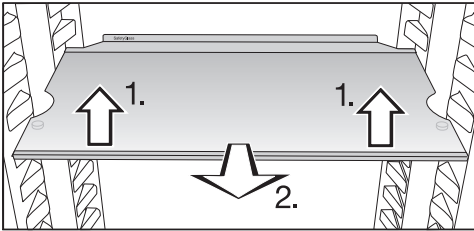
ドア棚/ボトル棚を移動する

機器ドアのドア棚/ボトル棚の移動は、棚が空の状態で行ってください。

- ドア棚/ボトル棚を上を押してから、手前に引いて取り外します。
- ご希望の高さにドア棚/ボトル棚を取り付けます。

調節可能な棚を移動する

調節可能な棚は、食品の高さに応じて調節できます。



- 棚の手前側を少し持ち上げてから、手前に少し引き出します。
- 側面の切り欠きが棚受けと一直線になるまで持ち上げます。これにより、ご希望の位置まで棚を上下することができます。
- 棚を押し込みます。

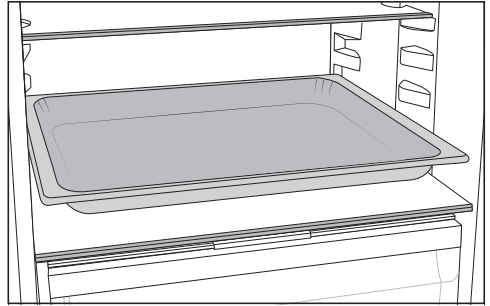
ストッパーが、棚が誤って外れるのを防ぎます。

食品が機器の背面に触れて凍結するのを防ぐために、背面の保護ストリップの隆起したエッジを上に向ける必要があります。

ベーキングトレイの格納スペース

引き出し上にベーキングトレイを置くことができます。ベーキングトレイは幅466 mm、奥行き386 mm、高さ50 mm を超えてはなりません。

- 機器のドアをいっぱいに開きます。



- ベーキングトレイを仕切りに置きます。

ヒント: ベーキングトレイは、室温まで冷ましてから冷蔵室に入れます。

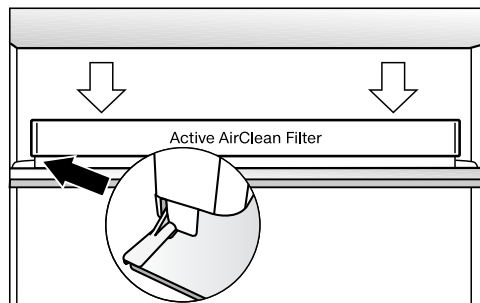
機器ガイド

Active AirClean filter (アクティブエアクリーンフィルター)を移動する

KKF-FF 活性炭フィルター（ホルダー付き）（Active AirClean）は別売りアクセサリーとしてご利用いただけます。

Active AirClean filter (アクティブエアクリーンフィルター)用のホルダーは、棚の奥側にある保護ストリップ上に置かれています。

- Active AirCleanフィルター（アクティブエアクリーンフィルター）を移動するには、上方に引っ張り、保護ストリップから外します。



- Active AirClean filter (アクティブエアクリーンフィルター)を、使用したい棚の保護ストリップに取り付けてください。

冷凍庫ゾーンのフレキシブルなデザイン (VarioRoom)

七面鳥やジビエ肉のような大きな食材を冷凍する場合は、上段の冷凍引き出しと、冷凍用引き出しの間にあるガラス板を取り外すことができます。これにより、かさばる冷凍した食品や背の高い冷凍した食品を収納するための容量とスペースが確保できます。

付属アクセサリー

エッグトレイ

ボトルホルダー

製氷皿

別売アクセサリー

本機器のための便利なミーレアクセサリーとお手入れ製品を取り揃えています。

機器用ケア製品やアクセサリーなど、お使いの冷蔵機器に特化した製品は、Mieleオンラインショップ、Mieleカスタマーサービス、またはMiele代理店からご購入いただけます。

初めてお使いになる前に

- 梱包材と保護フィルムをすべて取り外します。
- 機器内部とアクセサリを清掃します。

冷蔵機器を接続する

- 「電源接続」の説明に従って、冷蔵機器を電源に接続します。

Miele が機器のディスプレイに表示され、続いて  が表示されます。

冷蔵機器をオンする

- 機器のドアを開けます。
- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。

冷蔵機器が冷え始め、機器のドアが開いているときは庫内照明が点灯します。

設定冷凍温度に達すると、  記号が消え、冷凍室の温度表示が点灯し、アラーム音が停止します。

- アラーム音が気になる場合は、OK をタッチします。

アラームが止まります。

機器は徐々に事前設定された温度に達します。

冷蔵機器内の温度を十分冷やすため、食品を入れる前に機器を数時間稼働させてください。設定温度に達するまで、食品を冷蔵機器に入れないでください。

冷凍室が十分に冷えるまで（少なくとも -18 °C）、食品を冷凍室に入れないでください。

冷蔵機器をオフする

設定モード  でのみ、冷蔵機器全体をオフすることができます。

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。

 がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。

-   センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。

- OK をタッチします。

-   センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。

- OK をタッチします。

冷却と庫内照明がオフになります。

 とディスプレイに表示されます。

注意：冷蔵機器をオフにしても、電源からは切り離されていません。

冷蔵室だけをオフする

冷凍室をオフすることなく、冷蔵室をオフすることができます。休暇中などに便利です。

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。

 がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。

- OK をタッチします。

-  センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。

- OK をタッチします。

冷蔵室の温度表示が消えます。 とディスプレイに表示されます。

冷蔵室がオフになりました。

冷凍室の温度表示は点灯したままです。

電源をオン/オフする

冷蔵庫だけを再びオンする

- OKをタッチします。
- がディスプレイに表示されます（冷蔵庫が選択されています）。
- OKをタッチします。
- > センサーコントロールを使ってご希望の温度までスクロールし、OKをタッチします。

冷蔵庫が再びオンになります。

長期間オフする

長期不在時に冷蔵機器をオフにしても、清掃せずにドアを閉めたままにすると、内部にカビが発生するおそれがあります。

長期不在になる前に冷蔵機器を清掃することが大切です。

冷蔵機器を長期間使用しない場合は、以下を参照してください。

- 冷蔵機器をオフにします。
- コンセントからプラグを抜くか、ブレーカーを落とします。
- 冷蔵機器を清掃し、内部に臭いがたまらないよう、ドアを少し開けて冷蔵機器に空気が通るようにします。

冷蔵庫を長期間オフする場合も、上記の最後の2つの手順を実行することをお勧めします。

適切な温度

食品の保存寿命を長持ちさせるためには、正しい温度を設定することが非常に重要です。温度を下げると微生物の増殖速度が低下します。食品が傷む速度が低下します。

次の場合、冷蔵機器内の温度が上昇します：

- 機器のドアを開ける頻度が高く、開かれた時間が長いほど上昇
- 保存されている食品が多いほど上昇
- 庫内に入れた食品の温度が高いほど上昇
- 周囲温度が高いほど上昇。本冷蔵機器は、一定の気候クラス（周囲温度）での使用を前提に設計されています。周囲温度の設計範囲外では使用しないでください。

.. 冷蔵室内は

冷蔵室内の温度は **4 ° C** を推奨します。

... 冷凍室は

生鮮食品を冷凍するには、**-18 ° C** の温度が必要です。これにより、食品の保存期間を延ばし、品質を保つことができます。

温度が-10 ° C以上になると、バクテリアが食品中で再び活性化するため、食品を長く保存することができなくなります。このため、部分的に解凍、または解凍した食品を再び冷凍しないでください。調理時の高温によりほとんどのバクテリアが死滅するため、一度調理した食品は再冷凍することができます。

温度表示

通常運転時では、温度表示に **現在の冷蔵室の平均温度** と **冷凍室の最高温度** が表示されます。

周囲温度と温度設定によっては、機器が必要な温度に到達し、その温度がディスプレイに一定温度として表示されるまでに数時間かかる場合があります。

冷蔵室/冷凍室の温度を設定する

- 操作パネルの **OK** センサーコントロールをタッチします。
-  がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。
- 必要であれば、**< >** センサーコントロールを使って、選択した温度ゾーンを変更します。
- **OK** をタッチします。
- **< >** センサーコントロールを使って温度を変更します。
- **OK** をタッチします。

温度表示が、対応する温度ゾーンの現在の温度に戻ります。

温度設定範囲

- 冷蔵室：2 ~ 9° C
- 冷凍室：-26 ~ -15° C

操作

温度とドアのアラーム

 腐敗した食品による健康リスクがあります。

冷凍室の温度が-18 ° Cを超える状態が長時間続くと、冷凍した食品が解け始める場合があります。これは食品の保存寿命を短くしてしまいます。

冷凍した食品が解け始めていないか確認してください。解け始めていた場合、食品が安全に使用できるか確認してから、できるだけ早く使用するか、調理してから再冷凍してください。

温度アラーム

冷凍ゾーンの温度アラーム

本冷蔵機器には温度アラームが搭載されており、冷凍ゾーン内の温度が知らないうちに高くなるのを防ぎます。

温度が高くなりすぎると、 が冷凍ゾーンの温度表示で赤く点灯します。

アラームは、原因が解消されるか、アラームをオフにするまで、鳴り続けます。

設定温度により、機器が温度を「高すぎる」と認識します。

通知音および表示は、以下の状況で作動します。

- 機器をオンにした時、冷凍ゾーンの温度が設定温度と大きく異なる。
- 冷凍された食品を出し入れする際に、暖かい室内の空気が冷凍室に大量に入り込んだ。
- 一度に大量の食品を冷凍している。
- 温かい食品を冷凍している。
- 停電が発生した。
- 機器に異常が発生した。

 腐敗した食品による健康リスクがあります。

冷凍室の温度が-18 ° Cを超える状態が長時間続くと、冷凍した食品が解け始める場合があります。これにより、食材の保存期間が短くなります。

冷凍した食品が解け始めていないか確認してください。解け始めていた場合、食品が安全に使用できるか確認してから、できるだけ早く使用するか、調理してから再冷凍してください。

ドアアラーム

長時間にわたって機器のドアが開いたままになると、該当する温度表示にが表示されます。また、アラームが鳴り、内部照明が点滅します。

ドアアラームが作動するまでの時間は変更できます（「その他の設定を選択する」を参照）。
ドアアラームの警告音はオフにすることができます（「その他の設定を選択する」を参照）。
ドアを閉めると、アラームは停止し、ディスプレイの表示も消えます。

ドアアラームを早めにオフにする

■ OKをタップします。

が消え、アラームが停止します。室内照明が常時点灯します。

機器のドアが閉じていない場合、約1分後にドアアラームが再び鳴ります。

SuperCool

スイッチを入れると、SuperCool  機能で**冷蔵庫ゾーン**の温度を急速に下げて最低設定温度にすることができます(周囲温度による)。冷蔵機器はフルパワーで稼働し、温度を下げます。大量の生鮮食品や飲み物を急速に冷やすには、この機能を選択します。

SuperCool  機能をオンすると、機器から通常よりも多くの動作音が発生する場合があります。

SuperCool  機能は、食品や飲み物を冷蔵庫ゾーンに入れる直前にオンにしてください。

SuperCool  機能は約12時間後に自動的にオフになります。その後、冷蔵機器は再び通常のパワーで稼働するようになります。

ヒント: 電力節約のため、食品や飲み物が十分に冷えたら手でSuperCool  機能をオフにすることができます。

SuperCool をオン/オフする

- 操作パネルのOKセンサーコントロールをタッチします。
-  がディスプレイに表示されます(冷蔵室が選択されています)。
- OKをタッチします。
- <センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。
- OKをタッチします。

SuperCool機能 が**オン**になると、ディスプレイの上部に点が表示されます。

- >センサーコントロールを使って、ご希望の温度までスクロールし、OKをタッチします。

SuperFreeze

オンすると、SuperFreeze機能  は**冷凍室**の温度を最低設定(周囲温度による)まで急速に下げることが出来ます。冷蔵機器はフルパワーで稼働し、温度を下げます。生鮮食品を冷凍する前にこの機能を選択します。これにより、食品が急速に冷凍し、栄養素、ビタミン、風味、外観を保つのに役立ちます。

SuperFreeze機能  をオンすると、機器から通常よりも多くの動作音が発生する場合があります。

SuperFreeze機能は、冷凍室に食品を入れる**約6時間前**にオンにします。

最大量の食品を冷凍する場合は、**24時間前**にSuperFreeze機能  をオンにします。

SuperFreeze機能  は約72時間後に自動的にオフになります。冷蔵機器は通常のパワーでの稼働に戻ります。冷凍室に入れた生鮮食品の量によって、オフになるまでの時間が決まります。

ヒント: エネルギー節約のため、食品や飲み物が十分に冷えたらご自身でSuperFreeze機能  をオフすることができます。

次の場合、SuperFreeze機能をオンする必要はありません：

- 冷凍済みの食品を冷凍室に入れる場合
- 毎日 2 kg 以下の生鮮食品しか冷凍しない場合

SuperFreeze をオン/オフする

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。
-  がディスプレイに表示されます(冷蔵室が選択されています)。
- > センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。
- OKをタッチします。
- < センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。

操作

- OKをタッチします。

SuperFreeze機能  を **オン**すると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。

- < > センサーコントロールを使って、ご希望の温度までスクロールし、OKをタッチします。

DynaCool

DynaCool機能  がオンになっていない場合、冷たくて重い空気が機器の最下部に沈むため、機器内の自然な空気の循環により、冷蔵庫内に異なる温度ゾーンが発生します。機器に食品を入れるときは、このことにご注意ください(「冷蔵庫に食品を保存する」参照)。

ただし、一週間分の買い物の後など、同じような食品を一度に大量に冷蔵庫に保存する場合は、DynaCoolをオンにすることをお勧めします。このようにして、機器内のすべての調節可能な棚の温度をより均等に分配できるため、冷蔵庫内内のすべての食品がほぼ同じ程度に冷やされます。

温度は温度制御で通常通りに設定します。

また、次のような場合にもDynaCool機能  をオンにしてください。

- 周囲温度が高い(約35℃以上)
- 湿度が高い(夏など)

コンプレッサーがオンになると、ファンが必ず自動的にオンになります。

ヒント: DynaCool  をオンにすると消費電力が増えるため、通常の状態ではDynaCool  機能を再度オフにしてください。

エネルギーを節約するために、ドアが開いている間はファンは自動的にオフになります。

DynaCool をオン/オフする

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。

 がディスプレイに表示されます(冷蔵庫が選択されています)。

- OKをタッチします。

- < センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。

- OKをタッチします。

DynaCool  機能を **オン**すると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。

- > センサーコントロールを使ってご希望の温度までスクロールし、OKをタッチします。

冷蔵室に食品を保存する

各種保存ゾーン

自然な空気な対流によって、冷蔵室内には温度の違うゾーンがあります。

冷たく重い空気は、冷蔵室内の最下部に沈みます。食品を機器に入れる際は、異なるゾーンを活用してください。

この冷蔵機器はダイナミッククーリング機能を備えています。ファンが作動している間、冷蔵庫ゾーン内で冷気が均等に分散されます。各温度ゾーンの温度差はより小さくなります。

最も温かいエリア

冷蔵室内で最も温かいエリアは、前面部の最上段とドアの内側です。ここはバターやチーズの保存に使用してください。

最も冷たいエリア

冷蔵庫ゾーンの最も冷たいエリアは、DailyFresh引き出しの真上と、機器の奥側です。

4 ° Cの温度設定と適切な衛生管理により、サルモネラ菌やリステリア菌など、深刻な食中毒につながる細菌の繁殖を遅らせます。

そのため、これらのエリアを使用して、次のようなデリケートで傷みやすい食品を保存してください。

- 魚、肉、鳥肉
- ハム類、調理済み食品
- 卵や生クリームを含む料理や焼き菓子
- 調理前の生地、ケーキミックス、ピザやキッシュの生地
- 生乳チーズ、その他の生乳製品
- フムス、野菜ペースト、植物性クリームチーズ代替品

- パック野菜
- その他の生鮮食品（約4 ° Cの温度で保存することが記載されているもの）

ヒント: 食品は、冷蔵庫ゾーンの後壁に触れないようにしてください。食品が後壁に凍り着く可能性があります。

食品はそのまま保存するべきでしょうか、それとも包装して保存するべきでしょうか？

冷蔵庫ゾーン内に保存されている食品は適切に包装またはラップするようにしてください（DailyFresh引き出しでは一部例外が適用されます）。

これにより、食品の臭いが他の食品に移ったり、乾燥したりするのを防ぎ、また細菌の相互汚染を防止することができます。これは、肉類の保存時に特に重要です。特に生肉や生魚が他の食品と接触しないように注意してください。

温度設定が正しいことを確認し、適切な衛生対策を講じることで、食品の保存寿命を大幅に延ばすことができます。これにより、食品の廃棄を回避できます。

たんぱく質が豊富な食品

たんぱく質が豊富な食品は、他の食品よりも早く傷むことに注意してください。例えば、貝は魚よりも早く傷み、魚は肉よりも早く傷みます。

DailyFresh引き出しに食品を保存する

DailyFresh引き出しは、果物や野菜に最適な保存状態を提供します。

DailyFresh引き出しの湿度は、保管する食品に合わせて調整することもできます。食品は、より高い湿度で保存された場合、食品自体の水分を保持するため、すぐに乾きません。温度は冷蔵ゾーンの温度とほぼ同じです。

操作

食品が機器に入れた時点で新鮮であるほど、新鮮な状態が長続きます。

果物と野菜用の DailyFresh 引き出しの湿度レベルを調整する

ラップをかけずに保存した場合、水分量は保存する食品の種類や量に大きく左右されます。

このコンテナに保存される食品の量が少ない場合、湿度が低すぎる可能性があります。

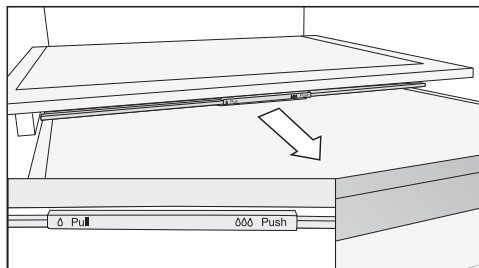
ヒント: 食品を少量しか保存しない場合は、密閉包装をしてください。

低い湿度を選択する

本機器は、湿度を上げ、コンテナカバーを後方に押し込んだ状態で出荷されています。

DailyFresh引き出しに過度の湿気がある場合のみ、この位置を変更してください。

- DailyFreshの引き出しを開けます。

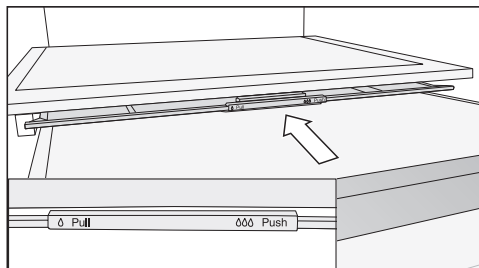


- コンテナカバーを前方にできるだけ引き出します。

コンテナカバーが開いていて、湿度が下がっています。

高い湿度を選択する

- DailyFreshの引き出しを開けます。



- コンテナカバーを奥までスライドさせます。

コンテナカバーが閉まり、コンテナ内に湿気が残ります。

生鮮食品を冷凍保存する

食品を冷凍室に入れる前に

状態のよい生鮮食品のみを冷凍してください。

- 2 kgを超える生鮮食品を冷凍する場合は、食品を冷凍室に入れる前に、SuperFreeze  機能を6 時間オンにしてください。
- さらに大量の食品を冷凍する場合は、食品を冷凍室に入れる前に、SuperFreeze  機能を24 時間オンにしてください。

これは、すでに冷凍室に保存されている食品が冷凍状態を保つのに役立ちます。

冷凍食品を冷凍室に入れる

 食品が重すぎると、破損を引き起こすおそれがあります。

重量のある食品を入れると、冷凍用引き出し/ガラス棚が破損するおそれがあります。それぞれの最大容量を超えないようにしてください：冷凍用引き出し = 15 kg
ガラス棚 = 35 kg

冷凍されていない食品は、冷凍済みの食品に触れないようにしてください。冷凍済みの食品が解け始めてしまいます。

- 冷凍時に食品同士がくっつくのを防ぐため、バックや容器が乾いた状態であることを確認してください。

食品を素早く中心まで凍らせるために、以下のバックや容器のサイズを超えないようにしてください。

- 果物と野菜：最大1 kg
- 肉類：最大2.5 kg

- 少量の食品を冷凍する

上段の冷凍引き出しで食品を凍らせる。

- 食品は冷凍の引き出しの奥に置き、できるだけ早く中心まで凍らせるようにしてください。

- 最大量の食品を冷凍する（型式表示シート参照）

食品を最上段の冷凍の引き出しに均等に配置してください。下段の引き出しには、既に冷凍済みの食品のみを保管してください。

- 食品は冷凍の引き出しの奥に置き、できるだけ早く中心まで凍らせるようにしてください。

冷凍後

- 食品や飲み物が十分に冷えたら、早めにSuperFreeze  機能をオフにしてください。

飲み物をすばやく冷やす

冷蔵庫で飲み物をすばやく冷やすには、SuperCool機能  をオンにします。

大量の飲み物を冷やしたい場合や、冷蔵庫で飲み物を冷やしたい場合は、設定モード  でパーティーモード  を選択します。

冷凍室で飲み物を急速に冷やすときは、ボトルを **1 時間以上** 入れたままにしないでください。破裂する場合があります。

氷を作る

- 製氷皿の3/4を水で満たし、いずれかの冷凍用引き出しの底面に置きます。
- 冷凍後、もし製氷皿が引き出しに固着してしまった場合は、スプーンの柄などで外してください。

ヒント: 氷は、トレイをゆっくりとひねるか、冷たい水を短時間かけることで、トレイから簡単に取り出すことができます。

その他の設定を選択する

さまざまな設定の説明

以下では、さらに説明が必要な設定についてのみ説明します。

設定モード  にいる間は、ドアアラームやその他の警告は自動的に無効になります。

パーティーモード

大量の生鮮食品や飲み物をすばやく冷やしたり凍らせたりしたい場合は、パーティーモード機能  をお勧めします。

ヒント: 機器に食品や飲み物を入れる約4 時間前に、パーティーモード機能  をオンにします。

パーティーモード  をオンすると、DynaCool 、SuperCool、SuperFreeze  の各機能が自動的にオンになります。

冷蔵室がオフ、あるいはホリデーモード  がオンになっている場合、パーティーモード  をオンすることはできません。

パーティーモード機能  は、約24 時間後に自動的にオフになります。ただし、パーティーモード機能  を早くオフすることはいつでも可能です。

ホリデーモード

ホリデーモード機能  は、休暇などで不在にする際に、冷蔵室を完全にオフにしたい場合や、強い冷却が必要ない場合などに便利です。

ホリデーモード  がオンになっている場合、これはスタートディスプレイに表示されます。冷蔵室は15 ° Cの温度に調整され、エネルギーを節約しながら稼働を続けます。冷凍室は、以前に設定された温度でオンのままになります。

すぐに傷まない食品は、冷蔵機器の控えめな温度でしばらくの間機器に保存することができます。消費電力量は通常動作時よりも低くなります。

これにより、冷蔵室をオフにし機器のドアが閉まった状態にした場合に発生するおそれのある臭いやカビの蓄積を防ぐこともできます。

 腐敗した食品による健康リスクがあります。

長期間、冷蔵ゾーンの温度が4 ° Cより高い状態が続くと、食品の品質が低下する場合があります。

ホリデーモード機能  は限られた期間に限ってオンにしてください。

この間、果物、野菜、魚、肉、乳製品など、温度に敏感な食品を保存しないでください。

ロック機能 / をオンする

ロック機能  をオンすると、冷蔵機器をうっかりオフしたり、お子様などによって意図せず設定変更されたりするのを防ぐことができます。

■ 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。

■ OKをタッチします。

ロック機能  をオンすると、ディスプレイの上隅に点が表示されます。

■ 機器のドアを閉めます。この時点で初めて、ロック機能  が有効になります。

その他の設定を選択する

ロック機能 / を一時的に無効にする

たとえば、温度を調整したい場合は、ロック機能を一時的に無効にすることができます：

- OKをタッチします。
-  とディスプレイに表示されます。
- OK センサーコントロールを約6 秒タッチします。
-  がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。
- 必要であれば、< > センサーコントロールを使って、選択した温度ゾーンを変更します。

- OKをタッチします。
- ここで、ご希望の設定を選択します。
- OKをタッチします。

機器のドアを閉じると、ロック機能が再び有効になります .

ロック機能 / をオフする

- OKをタッチします。
-  とディスプレイに表示されます。
- OK センサーコントロールを約6 秒タッチします。
-  がディスプレイに表示されます（冷蔵室が選択されています）。
- < > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。
- OKをタッチします。
- < > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。
- OKをタッチします。

ロック機能をオフすると、ディスプレイに  が表示されます。

サバトモード

本機器は、宗教上の慣習に対応したサバトプログラムを備えています。

サバトモード  がオンになっている場合、スタート画面に表示されます。

3 秒後にディスプレイがオフになります。

サバトモード  がオンになっていると、本冷蔵機器に対して設定は何も行うことができません。

アラームの表示や音はオフとなるため、機器のドアが正しく閉まっていることを確認してください。

サバトモード機能  は約120 時間後に自動的にオフになります。

サバトモード  がオンになっている場合、以下は無効になります：

- ドアを開けたときの庫内照明
- すべての通知音と表示
- 温度表示

以前にオンにされた他の機能はすべて有効のままです。

 腐敗した食品による健康リスクがあります。

サバトモード  が有効な間は、停電時のアラームも表示されないため、食品は一定期間高温にさらされる場合があります。これは食品の保存寿命を短くしてしまいます。サバトモード  中に停電が発生した場合は、食品の品質を確認してください。

サバトモード をオンする

- 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。
- OKをタッチします。

サバトモード機能  をオンすると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。

その他の設定を選択する

ディスプレイは3 秒後にオフになります。

- 機器のドアを閉めます。

サバトモード をオフする

- OK センサーコントロールをタッチします。
 とディスプレイに表示されます。

- OKをタッチします。

サバトモード機能  をオンすると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。

- OKをタッチします。

サバトモード機能  をオフすると、ディスプレイの上隅の点が消えます。

ドアアラーム が作動するまでの時間を変更する

機器のドアが開いた後、ドアアラームが鳴るまでの時間を設定できます。

- 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って、記号  までスクロールします。

- OKをタッチします。

- < > センサーコントロールを使って、ご希望の時間を30 秒から3 分の間に設定します。

- OKをタッチします。

アラーム音とブザーの音量を調整する

アラーム音とブザーの音量を調整できます（ドアアラームやエラーメッセージが発生した場合など）。アラーム音やブザーをオフすることもできます。

- 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。

- OKをタッチします。

- < > センサーコントロールを使って、アラーム音とブザーの音量をご希望に合わせて選択します。

- OKをタッチします。

アラーム音とブザーがオフになると、ディスプレイに  が表示されます。

ディスプレイの明るさ を調整する

部屋の照明状態に合わせてディスプレイの明るさを調整できます。

- 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。

- OKをタッチします。

- < > センサーコントロールを使って、ご希望のディスプレイの明るさを選択します。

- OKをタッチします。

デモモードをオフする

デモモード  では、冷却システムをオンすることなく、冷蔵機器をショールームでデモできます。この設定は、ご家庭での使用には必要ありません。

デモモードが初期設定としてオンになっている場合、冷蔵機器をオンすると、ディスプレイに  が表示されます。

- 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチします。

最初に Miele がディスプレイに表示され、続いてスタート画面が表示されます。

- OKをタッチします。

- 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。

- OKをタッチします。

デモモード  をオフすると、冷蔵機器がオフになるため、再度オンにする必要があります。

その他の設定を選択する

設定を初期設定にリセットする

冷蔵機器の設定は、工場出荷時設定にリセットされます（設定については、「機器ガイド」参照）。

- 設定モード  で、< > センサーコントロールを使って記号  までスクロールします。
- OKをタッチします。
- > センサーコントロールを使って、 記号までスクロールします。
- OKをタッチします。

冷蔵機器がオフになるため、再度オンにする必要があります。

情報

機器データ（型式と製造番号）がディスプレイに表示されます。

次のような場合、この機器データをお手元にご用意ください。

- 機器の異常をミーレ・カスタマーサービスに報告する（「アフターサービス」を参照）。

活性炭フィルター交換表示

活性炭フィルター（別売アクセサリー）を挿入した後、設定モード  で活性炭フィルター変更表示  を有効にする必要があります。

スタート画面の活性炭フィルター交換表示  は、約6か月ごとに活性炭フィルターを交換するように促します。（「清掃とお手入れ」-「Active AirClean filter（アクティブエアクリンフィルター）（活性炭フィルター）を交換する」参照）。

清掃モード

清掃モード  を使用すると、冷蔵ゾーンの清掃が簡単になります（「清掃とお手入れ」参照）。冷蔵ゾーンはオフになりますが、庫内照明はオンのままです。ブザーが止まり、ディスプレイの記号も消えます。

清掃モード  がオンになっている場合、これはスタートディスプレイに表示されます。

清掃後、清掃モード  をオフにする必要があります。機器のドアが10分以上閉じられると、清掃モード  は自動的にオフになります。

清掃とお手入れ

冷蔵機器の庫内にある型式表示シールは絶対に取り外さないでください。これには、修理依頼電話の際に必要な情報が含まれています。

電子ユニットや照明に水が入らないようにしてください。

 湿気による破損のおそれがあります。スチームクリーナーからの蒸気は、プラスチックや電気部品に損傷を与える場合があります。冷蔵機器の清掃にスチームクリーナーを使用しないでください。

霜取り

冷蔵庫ゾーンとDailyFresh引き出し

冷蔵庫ゾーンとDailyFresh引き出しは自動で霜取りされます。

コンプレッサーの作動中に、冷蔵庫ゾーンの後壁に結露と霜がつくことがあります。これを取り除く必要はありません。

結露は、凝縮水路と凝縮水排水口を通して、冷蔵機器の背面にある蒸発システムに排水されます。排水された結露は、コンプレッサーから発生する熱で自動的に蒸発します。

冷凍庫ゾーン

冷蔵機器には、冷凍庫ゾーンを自動的に霜取りするNoFrostシステムが搭載されています。

洗剤

冷蔵機器の庫内に使用する洗剤やコンディショニング剤は、食品に使っても安全でなければなりません。

機器表面の損傷を防ぐために、以下のものは使用しないでください：

- ナトリウム化合物、アンモニア、酸、塩素系漂白剤を含む洗剤
- カルキ除去剤を含む洗剤
- 研磨剤入りの洗剤（磨き粉、液体クレンザー、軽石など）
- 溶剤を含む洗剤
- ステンレス用の洗剤
- 食器洗い機用洗剤
- オープン用スプレー
- ガラス用洗剤
- 硬い研磨スポンジやブラシ（鍋磨き用スポンジなど）
- メラミンスポンジ
- 尖った金属製スクレイパー

機器表面の清掃には、少量の洗浄液を入れたぬるま湯と洗浄用スポンジお勧めします。

清掃のために冷蔵機器を準備する

冷蔵庫ゾーンのための清掃：

清掃モード  を使用してください。

- 冷蔵庫ゾーンから食品を取り出し、涼しい場所に保管します。
- 取り外し可能なアクセサリーは、取り外して清掃してください。

冷凍庫ゾーン/冷蔵機器全体を清掃する

- 冷蔵機器をオフにします。
- 記号がディスプレイに表示され、冷却システムがオフになります。
- 冷凍庫ゾーン/冷蔵機器から食品を取り出し、涼しい場所に保管します。
- 取り外し可能なアクセサリーは、取り外して清掃してください。

機器内部の清掃

冷蔵機器は定期的に、少なくとも月に1回は清掃してください。

汚れを放置しておくと、状況によって落せなくなる場合があります。

表面が変色または損傷する場合があります。

このため、汚れたらすぐに拭き取ります。

- 清潔なスポンジとぬるま湯、少量の洗浄液で**内部**を清掃します。
- 清掃後は、きれいな水で拭き取り、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 綿棒などを使って凝縮水路と排水口を清掃してください。
- 冷蔵機器に空気を通し、においがたまらないようにするため、しばらくドアを開いておきます。

アクセサリーを手洗いまたは食器洗い機で洗浄する

以下の部品は必ず **手洗い** してください：

- ステンレストリム
- 印刷が施されている調節可能な棚
- すべての引き出し、およびコンテナのフタ（機種による）
- フレキシブルボトルラック（別売アクセサリー）
- 整理ボックス（別売アクセサリー）

以下の部品は **食器洗い機対応** です：

 食器洗い機での高温洗浄による損傷のおそれがあります。

食器洗い機で55 ° Cを超える温度で洗浄すると、変形するなどして冷蔵機器の部品が使用できなくなる場合があります。

食器洗い機対応の部品については、最大55 ° Cまでのプログラムのみを使用してください。

ニンジン、トマト、ケチャップなどに含まれる天然色素との接触は、食器洗い機のプラスチック部品を変色させる場合があります。この変色は部品の安定性には影響しません。

- ボトルホルダー、エッグトレイ、製氷皿
- 機器ドアのドア棚とボトル棚（ステンレストリムなし）
- 調節可能な棚（トリムなしの状態、または印刷なしのもの）
- ガラス棚（保護トリムなし）
- 整理ボックス（別売アクセサリー）
- 活性炭フィルター用のホルダー（別売アクセサリー）

アクセサリーを取り外し、分解、清掃する

ドア棚/ボトル棚を分解する

食器洗い機でドア棚/ボトル棚を洗浄する前に、ステンレストリムを取り外します。

ステンレストリムの取り外しは、以下の手順で行います：

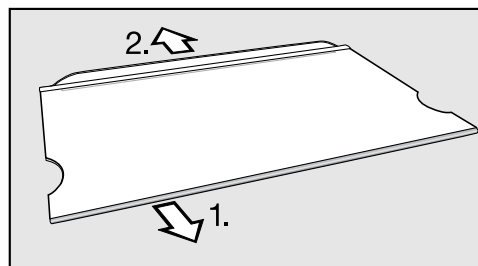
- ドア棚/ボトル棚を作業台に置きます。
- トリムを片側ずつ引いて棚から取り外します。
- ドア棚/ボトル棚を清掃した後、トリムを再度取り付けます。

清掃とお手入れ

調節可能な棚を分解する

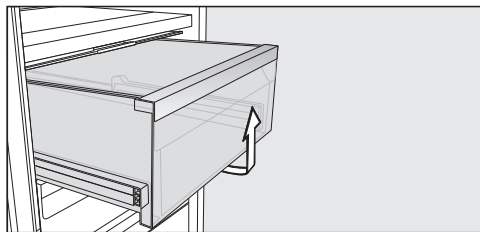
棚の清掃を行う前に、次のように棚の背面にあるプラスチックトリムと保護ストリップを取り外します。

- 柔らかい素材（布巾など）を作業台に敷いて、その上に棚を置きます。



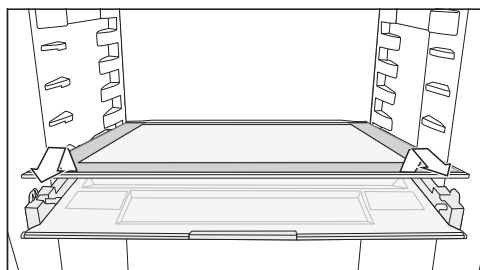
- まず、プラスチックトリムを片側から取り外します。
- 次に、保護ストリップを取り外します。
- 棚の清掃後、プラスチックトリムと保護ストリップを再び取り付けます。

コンテナカバーを取り外す



- カバーを手前側で持ち上げて引き出します。
- 清掃後、コンテナカバーをスライドさせて元に戻します。

仕切り板の取り外し



- 仕切り板を取り外します。
- 清掃後、仕切り板をスライドさせて元に戻します。

冷凍室から引き出しとガラス棚を取り外す

- 引き出しを少し手前に引き、取り外します。
- ガラス棚を手前に少し引き出します。

ガラス棚と引き出しを冷凍室に入れる

- ガラス棚をガイドレールの上に斜めに置きます。
- 押し込んでガラス棚を下げます。

- 引き出しをガイドレールの上に斜めに置きます。
- 押し込んで引き出しを下げます。

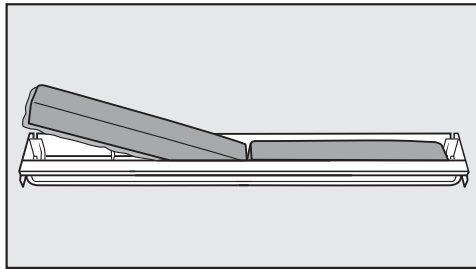
Active AirClean filter (アクティブエアクリーンフィルター) (活性炭フィルター) を交換する

新しいActive AirCleanフィルターは、Mieleカスタマーサービス、Miele代理店、またはMieleウェブサイトでご注文いただけます。

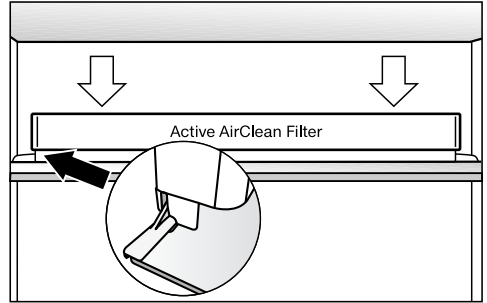
- 活性炭フィルターホルダーを上につけて、調節可能な棚から取り外します。

活性炭フィルターは、湿気によって冷蔵庫の内部に付着する場合があります。冷蔵庫の内部に付着しないように取り付けてください。

新しい活性炭フィルターを、ホルダーの端からはみ出さないようホルダーの奥深くに挿入します。



- 両方の活性炭フィルターを取り外し、新しいフィルターをエッジ付きの面を下にしてホルダーに取り付けます。



- ホルダーを調節可能な棚の背面の保護ストリップの中央に置き、カチッと取り付けます。

Active AirClean filter (アクティブエアクリーンフィルター)が交換されたことを確認する

- OKをタップします。

⊗ 記号が消え、カウンターがリセットされます。

機器前面とサイドパネルを清掃する

汚れを放置しておくと、落とせなくなる場合があります。表面が変色または損傷する場合があります。

したがって、機器の前面とサイドパネルの汚れはすぐに取り除くようにしてください。

表面は傷つきやすくなっています。不適切な洗剤を使うことにより表面が変質、変色するおそれがあります。

本章の冒頭にある「洗剤」に関する情報を参照してください。

- きれいなスポンジとお湯に溶かした食器用台所洗剤で表面を清掃します。きれいなマイクロファイバークロスを湿らせて、洗剤なしで使うこともできます。
- 清掃後に、清潔な水で湿らせた布で拭き、柔らかい布で拭いて乾かします。

清掃とお手入れ

CleanSteel(edt/cs)―機器前面

 不適切な清掃によって、機器が破損するリスクがあります。

表面のコーティングが破損します。

機器の表面に**ステンレスクリーナーは使用しないでください**。

機器の前面には、高品質の特別な仕上げが施されています。この仕上げは汚れに強く、清掃も非常に簡単です。

- 冷凍庫ゾーンが必要な温度まで下がったら、食品を冷凍引き出しに入れ、冷凍室に戻します。
- 食材や飲み物が十分に冷えたら、SuperCool  機能をオフにしてください。
- 冷凍室が-18° ° Cまたはそれ以下の温度で安定したら、SuperFreeze機能  をオフにします。
- 機器のドアを閉めます。

ドアパッキンを清掃する

 誤った清掃による損傷のおそれ。
ドアシールにオイルやグリスを施すと、気密性が低下する場合があります。
ドアシールにオイルやグリスを使用しないでください。

- ドアパッキンは定期的なきれいな水で拭いてから、柔らかい布で拭いて乾かします。

換気口の清掃

- 換気口はブラシまたは掃除機で定期的に掃除する必要があります（例えば、Miele掃除機のコロリ取り用ブラシを使用できます）。

清掃をした後は

- すべての棚とアクセサリーを冷蔵機器内に戻します。
- 必要であれば、冷蔵機器をオンにします。
- 必要に応じて、冷凍庫ゾーンから清掃モード  を再度オフにしてください。
- 冷凍庫ゾーンがすばやく冷えるよう、しばらくの間SuperFreeze機能  をオンにします。
- 冷蔵庫ゾーンがすばやく冷えるよう、しばらくの間SuperCool機能  をオンにします。
- 冷蔵庫ゾーンに食品を入れます。

こんなとき、どうしたらいい？

多くの機能障害や不具合は容易に解決できることがあります。たいていの場合は、カスタマーサービスへの連絡が不要なため、時間とお金の節約になります。

不具合を解決するために、<https://www.miele.co.jp/domestic/contact-45.htm> もご利用ください。



不必要に冷気が失われるのを防ぐため、本機器の修理を待つ間はドアを開けないことをお勧めします。

その他の問題

問題	原因および対策
冷蔵機器が冷えない。	冷蔵機器がオンになっていません。 ■ 冷蔵機器をオンにします。
	プラグがコンセントに正しく挿し込まれていないか、プラグコネクターが機器背面のコンセントに正しく挿し込まれていません。 ■ プラグをコンセントに挿し込み、プラグコネクターを機器のコンセントに正しく挿し込んでから、オンにします。
	電源ヒューズが切れています。冷蔵機器、家庭用電気配線、他の電気機器に異常がある可能性があります。 ■ 資格のある電気技術者またはMieleカスタマーサービスにお問い合わせください。
コンプレッサーが継続的に稼働している。	これは異常ではありません。電力を節約するため、必要な冷却が少ない場合にコンプレッサーは低速で稼働します。これにより、コンプレッサーの運転時間が長くなります。
コンプレッサーがより頻繁に、より長期間稼働する。冷蔵機器内の温度が低すぎる。	機器のドアが完全に閉まらず、機器の温度が下がっています。 ■ 機器のドアは必要なときにだけ開け、できるだけ短時間にしてください。
	機器のドアが完全の閉まらず、機器の温度が下がっています ■ 機器のドア正しく収まっていることを確認し、必要に応じてヒンジのネジを調整してください。
	機器のドアが正しく閉まっていません。厚い氷の層ができてしまっている場合、これは冷却に影響し、電力消費量が増加します。 ■ 機器のドアは必ず完全に閉めてください。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	原因および対策
	■ 必要に応じて、冷蔵機器の霜取りと清掃をしてください。
	周囲温度が高すぎます。周囲温度が高いほど、コンプレッサーの稼働時間が長くなります。 ■ 「設置 - 設置場所」を参照してください。
	換気口がふさがれた状態になっているか、埃が溜まっています。 ■ 換気口を塞がないでください。 ■ 換気口を定期的に清掃してください。
	ビルトイン機器の場合：冷蔵機器が正しい開口で設置されていません。 ■ 設置手順書に従って、冷蔵機器を開口に設置します。
冷蔵機器内の温度が低すぎる。	冷蔵機器内の設定温度が低すぎます。 ■ 温度設定を修正してください。
	一度に大量の食品が冷凍されました。 ■ 「操作 - 生鮮食品の冷凍保存」の指示を参照してください。
	SuperCool機能  がオンのままです。 ■ 電力を節約するには、早めにSuperCool機能  をオフします。
	SuperFreeze機能  がオンのままです。 ■ 電力を節約するには、早めにSuperFreeze機能  をオフします。
冷蔵機器内の温度が高すぎる。	これは異常ではありません。温度設定が高すぎます。 ■ 温度設定を修正してください。 ■ 24 時間後にもう一度温度を確認してください。
	本冷蔵機器の周囲温度が低すぎます。周囲温度が低すぎると、コンプレッサーの稼働頻度が低下します。冷蔵機器の温度が上昇しています。 ■ 「設置 - 設置場所」を参照してください。 ■ 周囲温度を上げてください。
冷蔵機器内部に氷または結露が蓄積している。機器のドアが正しく閉まらないことがある。	ドアパッキングが溝から外れています。 ■ ドアパッキングが溝に正しく取り付けられているか確認してください。
	ドアパッキングが破損しています。 ■ ドアパッキングが破損していないか確認してください。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	原因および対策
ドアパッキンが破損している、または交換する必要がある。	ドアパッキンの交換に必要な工具はありません。 ■ ドアパッキンを交換してください。交換用の部品は、ミーレまたは専門のミーレ取扱店でご注文いただけます。
食品同士が凍り付いてしまっている。	冷凍庫に入れる際に、食品の包装が乾いていませんでした。 ■ スプーンの柄やスクレーパーなど、先のとがっていないもので慎重に分けてください。
ドアが長い間開いていても、アラーム音が鳴らない。	これは異常ではありません。設定モードでアラームがオフにされています。アラームを再び作動させるには、以下のように操作してください。 ■ OKをタップします。 🔔 がディスプレイに表示されます。 ■ < または > センサーコントロールを使って、🔔 記号までスクロールします。 ■ OKをタップします。 ■ < または > センサーコントロールを使って、🔔 記号までスクロールします。 ■ OKをタップします。 ■ < > センサーコントロールを使って、アラーム音とブザーの音量をご希望に合わせて選択します。 ■ OKをタップします。 アラームとブザーがオンになると、🔔 が表示されます。

警告表示

メッセージ	原因および対策
🔔 がディスプレイに点灯し、操作部と庫内照明は機能しているのに冷蔵機器が冷えない。	デモモードが有効になっています。 ■ OKをタッチします。 最初に Miele がディスプレイに表示され、続いてスタート画面が表示されます。 ■ OKをタッチします。 ■ 設定モード 🔔 で、< > センサーコントロールを使って記号 🔔 までスクロールします。 ■ OKをタッチします。 デモモード 🔔 をオフすると、冷蔵機器がオフになるため、再度オンにする必要があります。

こんなとき、どうしたらいい？

メッセージ	原因および対策
 がディスプレイに点灯し、冷蔵機器が使用できない。	清掃モード機能がオンのままです。 ■ 操作パネルの OK センサーコントロールをタッチして、清掃モードをオフにします。  がディスプレイに表示されます。 ■ OKをタッチします。 清掃モード  をオフにすると、ディスプレイ上部の点が消えます。 ■ <> センサーコントロールを使って、↵ 記号までスクロールし、OKをタッチします。 冷蔵機器が再び冷却を開始します。
ディスプレイに何も表示されない。ディスプレイが真っ黒である。	サバトモード  がオンになっています：庫内照明がオフになり、冷蔵機器が冷却されています。 ■ OKをタッチします。  とディスプレイに表示されます。 ■ OKをタッチします。 サバトモード機能  をオンすると、ディスプレイ ● の上隅に点が表示されます。 ■ OKをタッチします。 サバトモード機能  をオフすると、ディスプレイの上隅の点が消えます。
 記号がディスプレイに点灯し、冷蔵機器が使用できない。	ロック機能が有効になっています。 ■ 冷蔵機器のロックを一時的に解除するか、ロック機能を完全にオフにしてください。
 記号がスタート画面で点灯し、ブザー音が鳴る。	スタート画面の  活性炭フィルター交換表示は、フィルターを交換する必要があることをお知らせします。 ■ ホルダー内の活性炭フィルターを交換し（「清掃とお手入れ」－「Active AirClean filter (アクティブエアクリーンフィルター) (活性炭フィルター) を交換する」参照）、OK センサーコントロールにタッチして、活性炭フィルターが交換されたことを確定してください。  記号がスタート画面から消えます。
 がディスプレイに点灯し、アラームが鳴り、庫内照明が点滅する。	ドアアラームが作動しています。 ■ OKをタップします。 アラームが停止し、 記号が消え、庫内照明が再び常時点灯します。 ■ 機器のドアを閉じます。

こんなとき、どうしたらいい？

メッセージ	原因および対策
❄️△が冷凍庫ゾーン温度表示で点灯し、アラーム音が鳴る。	温度アラームが作動しました。冷凍庫ゾーンの温度が設定温度より上昇または下降したためです。 それには以下の理由が考えられます。 - 機器のドアが頻繁に開けられた。 - SuperFreeze機能がオフのまま、大量の生鮮食品が冷凍室に入れられた。 - 長時間の停電が発生した。 - 冷蔵機器に異常が発生しました。 ■ OKをタップします。 アラームメッセージの確認：❄️△が表示されなくなり、アラームが停止します。 冷凍庫ゾーンに記録された最高温度がディスプレイに約1分間点滅します。その後、温度表示が冷凍庫ゾーンの現在の温度に変わります。 温度表示の点滅を手動で終了することができます。 ■ OKをタップします。 最も高い温度表示が消えます。その後、ディスプレイは冷凍庫ゾーンの現在の温度表示に戻ります。 ■ アラームの原因を解消します。 ■ 表示される温度によって、冷凍室内の食品が解け始めたか、または完全に解凍されたかを確認する必要があります。解凍されている場合は、できるだけ早く消費してください。解凍された食品は、調理後に限り再冷凍することができます。

こんなとき、どうしたらいい？

メッセージ	原因および対策
ディスプレイに [ⓘ] △が表示され、アラームも鳴る。	停電表示：停電または電源の中断により、冷凍庫ゾーン内の温度がここ数日または数時間で高くなりすぎました。 ■ OKをタップします。 エラーメッセージが確認されました： [ⓘ]△が消え、アラーム音が止まります。 冷凍庫ゾーンで記録された最高温度が、冷凍庫ゾーンの温度表示に約1分間点滅します。その後、温度表示が冷凍庫ゾーンの現在の温度に変わります。 温度表示の点滅を手動で終了することができます。 ■ OKをタップします。 最も高い温度表示が消えます。その後、温度表示は冷凍庫ゾーンの現在の温度表示に戻ります。冷蔵機器が再びオンになると、最後の温度設定に戻ります。 ■ アラームの原因を解消します。 ■ 表示される温度によって、冷凍室内の食品が解け始めたか、または完全に解凍されたかを確認する必要があります。解凍されている場合は、できるだけ早く消費してください。解凍された食品は、調理後に限り再冷凍することができます。
△がディスプレイで点灯し、エラーメッセージFと番号が表示される場合がある。アラーム音も鳴る。	異常が発生しています。 ■ OKをタップしてアラーム音をオフにします。 ■ Mieleカスタマーサービスに連絡します。 異常を報告するには、エラーメッセージと、お使いの冷蔵機器の型式と製造番号が必要です。これらの情報 ⓘ はディスプレイからアクセスできます。 ■ OKをタップします。 必要な機器データがディスプレイに表示されます。 ■ OKをタップします。 ■ 冷蔵機器をオフするには、< もしくは > センサーコントロールを使用して、記号 OK までスクロールします。 ■ 情報表示を終了するには、< もしくは > センサーコントロールを使用して、記号 ⓘ までスクロールします。 ■ OKをタップします。 機器の異常：この表示は、選択されたばかりの設定よりも常に優先されます。 機器の異常は、現在表示されているドアアラームや温度アラームよりも優先されます。

こんなとき、どうしたらいい？

庫内照明



露出した通電中の電気部品による感電のおそれがあります。

照明カバーを取り外すと、通電中の電気部品に接触するおそれがあります。

照明カバーは取り外さないでください。LED照明の修理や交換は、ミーレのサービスのみが行えます。



LED照明によるけがのおそれがあります。

カバーに異常があると、眼をけがするおそれがあります。

照明カバーに異常がある場合は、近距離から光学機器（虫眼鏡など）を使用して照明を直接見ないでください。

問題	原因および対策
庫内照明が点灯しない。	冷蔵機器がオンになっていません。 ■ 冷蔵機器をオンにします。
	サバトモード  がオンになっています。ディスプレイが暗く、冷蔵機器は冷却されています。 ■ OKをタッチします。  とディスプレイに表示されます。 ■ OKをタッチします。
	サバトモード機能  をオンすると、ディスプレイ  の上隅に点が表示されます。 ■ OKをタッチします。
	サバトモード機能  をオフすると、ディスプレイの上隅の点が消えます。
庫内照明が点滅しています。	オーバーヒートを防ぐため、機器のドアを開けたままにすると、約15分後に照明が自動的にオフになります。これに該当しない場合は、異常があります。 ■ ミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。
	これは異常ではありません。ドアアラームが作動しています。

運転時の音

冷蔵機器から運転中さまざまな音を発生させます。

冷蔵性能が下がっていると、冷蔵機器はエネルギーを節約しますが、より長時間運転します。

音量は低くなります。

冷却性能が高いとき食品はより速く冷却されます。

音量は高くなります。

こんなとき、どうしたらいい？

通常の 運転音	その音の原因は何ですか？
シューシューという音	冷却回路に冷媒が注入されています。
ブクブク、ゴボゴボ、 バシャバシャという音	冷媒がパイプを循環しています。
うなるような音	冷蔵機器が冷却中です。
カチッという音	サーモスタットがコンプレッサーのオン/オフを切り替えています。
うなるような音、ブーン という音	ファンが作動しています。 自動ドア開閉装置（モデルにより異なる）がドアを開閉しています。
パキッという音	冷蔵機器内の食材が膨張しています。
ガタガタという音	バルブまたはフラップが作動しています。
ブザー音（水タンク付き 冷蔵機器）	水タンクから水が汲み出されています。
ズルズルという音（ソフト クローズ機構付き冷蔵 機器）	ソフトクローズ機構付き機器のドアが開閉されています。
ある程度の音は避けられないことにご注意ください（コンプレッサーや冷却回路内を循環する冷媒からの音）。	

使用中の音	原因と改善方法
振動、ガタガタ、 カチャカチャという音	冷蔵機器が水平に設置されていません。水準器を使用して、冷蔵機器の配置を確認し、調整します。冷蔵機器は、その下にある高さ調節可能な脚（モデルにより異なる）を上下させることで位置を調整します。
	冷蔵機器が別の機器や家具に触れています。移動してください。
	引き出しやバスケット、棚が揺れている、または挟まっています。取り外し可能なアイテムをすべて確認し、正しく取り付け直してください。
	ボトルやコンテナが接触しています。ボトルやコンテナを少し離しておきます。

お客様ご自身で不具合を解決するのに役立つ情報と、Mieleのスペアパーツに関する情報は、www.miele.com/serviceからご確認ください。

故障の際の連絡先

お客様ご自身では対応できない故障の場合は、ミーレ販売店またはミーレ・カスタマーサービスまでご連絡ください。

ミーレ・カスタマーサービスへの修理のお申し込みについては www.miele.co.jp/service をご覧ください。

ミーレ・カスタマーサービスの連絡先は本冊子の最終ページにあります。

ミーレ・カスタマーサービスにご連絡いただく際には、お使いの機器の型番と製造番号(SN)をご用意ください。どちらの番号も、冷蔵機器内部の型式表示シール、またはモデルによっては、設定モードの情報 **i** にあります。

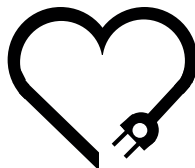
保証

ご使用の機器に同梱されている保証書を参照してください。お問い合わせ先は最終ページに記載されています。

著作権とライセンス

通信モジュールの操作と制御のために、ミーレはオープンソースライセンス条項の対象外のプロプライエタリソフトウェア、またはサードパーティソフトウェアを使用しています。本ソフトウェアおよびソフトウェアコンポーネントは著作権により保護されています。ミーレおよびサードパーティの著作権は法の下に保護されています。

さらに、機器に搭載されている通信モジュールには、オープンソースライセンスに基づき配布されるソフトウェアコンポーネントが含まれています。機器に含まれるオープンソースコンポーネント、著作権についての通知、その時点で有効なライセンス条項のコピー、およびその他の情報は、IPを介して端末のウェブブラウザ上で閲覧できます([http\[s\]://<IPアドレス>/Licenses](http[s]://<IPアドレス>/Licenses))。ここに表示されたオープンソースライセンスの賠償責任および保証規約は、それぞれの権利所有者にのみ適用されます。



愛情点検

長年ご使用の冷蔵機器の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れてもときどき運転しない時がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 本体ケースが変形していたり、異常に熱い
- こげくさい臭いがする
- 機器に触るとピリピリと電気を感じることもある。
- その他の異常や故障がある。



●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

カスタマーサービス 0120-310-647（フリーダイヤル）

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12 オリックス目黒ビル4階

www.miele.co.jp

KFN 4375 DD

ja-JP

M.-Nr. 12 137 560 / 03 / 002